

しまなみ海道

1999年に開通した「しまなみ海道」は、瀬戸内海の諸島を本州や四国と結ぶハイウェイです。この道路は、広島県尾道市から愛媛県今治市までの70km近くに及ぶ7つの橋から成っています。しまなみ海道を独特にしているのは、このハイウェイが自動車だけでなく、自転車や歩行者用にも指定されている点です。しまなみ海道の行程には、向島、生口島、大三島、伯方島、大島も含まれます。

これほど多くの橋が架かる「しまなみ海道」は、瀬戸内海やそこに浮かぶ島々の比類のない眺めが得られます。ひとつの島から次の島へと移動するに連れ、橋のそれぞれが異なる景色や独特の眺めをもたらします。しまなみ海道の橋はすべてが異なるものの、各橋にはサイクリストや歩行者に適した通路がついています。実際にしまなみ海道は、日本の長距離サイクリングの最も人気のルートのひとつです。

しまなみ海道の橋はまた、それ自体が素晴らしい景観でもあります。大島と今治市を結ぶ来島海峡大橋は、実は独特の3連吊り橋であり、世界最長の吊り橋構造となっています。